

お仕事参観日

～設計編～



企業ホームページだけではわからない、働く皆さんの姿に迫ります!今回、注目したのは設計のお仕事。「設計って……組み立て?図面を書くとか?」とぼんやりしたイメージしかわからない人もそうでない人も、まずはご覧あれ!これが小澤製作所の設計です!

私が紹介します!



第一工事部 兼設計部
設計部マネージャー
たけむら ゆうき
竹村 幸起さん

そもそも設計って どんな仕事?



文字通り、機械を設計する仕事です。特に、機械の動くメカニズム(しくみ)を設計する仕事のことを指しています。思い描いた機械(アイデア)を具体的に形にしていく、その重要な工程を担うのが機械設計者です。

では実際に小澤製作所では
どんな流れで
設計のお仕事をしているのでしょうか?

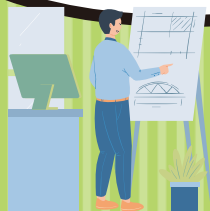
営業の皆さんにお客様からアプローチがあります。そこで設計は技術面でサポートすべく、お客様への最初の訪問に同行。「このようにやりたい」、「これを作ってほしい」というご依頼、ご要望をお聞きし、会社へ持ち帰ります。

STEP 1 お客様からの ご依頼・ご要望 を確認



ヒアリングしたご要望をどのようにしたら、具現化できるかを検討します。また、不可能と思われるご要望も条件付きで実現できるかもしれません。検討する上で、より細かい情報が必要となれば、何度もお客様のもとへ訪問して、次のステップである「構想設計」のネタを固めていきます。

STEP 2 具現化 できる方法を 試行錯誤



提案して、ある程度は当社で行うとなった場合、最初の設計に入ります。営業担当者と連携し、「今のご要望はこういったものになります」という図面、工程のフローシート、概算の見積書を作成。お客様に検討していただきます。

STEP 3 最初の設計



STEP 4 受注決定で 詳細設計



設計という仕事の面白さ ゼロから10までを自らの手で



自分がイチから考え計算し、完成品が設置されてしっかり稼働するまでの一連の流れ。これを経験することはなかなかありません。たとえば自動車工場に勤めていても、かかわるのは車の一部だけ。当社の設計はゼロから10までを自らで考えて携われます。そこが面白いところだと思います。また、経験を重ねるなかで、できること、守備範囲がどんどん拡大。自分の能力が上がって「やれないことはない」という思考にまで至ります。これもまた面白い!あと、個人的にはそもそも機械ものが好きなので、楽しく仕事しています。

設計の仕事を選んだ理由



あれは19歳のころ。就職しようと思った、ハローワーク経由で地元の実業メーカーへエントリー。その面接の場で「現場、設計、どちらにする?」と聞かれました。そこで思ったのが、「工業高校に行ってたし、CADはできるし、なにより現場で道具を振り回しているのが似合う俺が設計やったら、面白いだろうな」と。そこから設計の仕事始めて、今や15年です。

続けられたのは、単純作業ではなく、考える必要があるので退屈しなかったから。そして、お客様からの「良かった」という言葉や別の仕事を依頼されること日々のモチベーションになっています。

工事が設計通りに行なわれたのか管理を行いつつ、最終の試運転で能力が出ているかを確認。ここまでが設計の仕事です。

STEP 5 最終確認



どんな人が 設計の仕事に 向いている?

柔軟性や変化を 楽しむ力

勉強ができればいいというわけではありません。頭は固くなく、割り切れる柔軟性が必要かなと思います。設計している際、1つのことに固執して、そこばかり考えていると、先に進みませんから。10個のうち正解は1個。それを求めてひたすら選択肢を潰していく過程を楽しめる人が向いているのではないのでしょうか。試行錯誤できる、変化する状況についていける性格が設計にはぴったりかも。



活躍社員が語る!

私が小澤製作所に決めたワケ

なぜ小澤製作所を選んだのか、ここで何を実現したいのかなど、皆さんの入社へのワケに迫ります。今回お話を伺ったのは製造本部 副本部長 兼 第二工事部 部長の深見さん。小澤製作所の仕事を「努力の実りが現物化する仕事」とおっしゃいます。その醍醐味が味わえるのは、取り巻く環境にも理由があるのかもしれない。



EIJI FUKAMI

製造本部 副本部長 兼 第二工事部 部長 **深見 英司**さん

入社理由

私はもともと機械を触ることが好きで、その仕事は続けたいと思っていました。そこで、前職と同じ職種で働ける当社を選んだ次第です。実際に入社してみると、小澤製作所は人に手厚く、給与面も良く、入社して良かったと感じています。

前職と当社の違い

社員の声が伸びやかに届く

前職ではプラント工事を担当していましたが、小澤製作所は前職と比べて自分の頑張りが評価されると感じています。組織の風通しも良く情報共有も密になされているため、問題発生時には迅速に協力が得られ、新しいことへの挑戦にも一丸となり取り組むことができます。また、従業員の向上意欲に対するバックアップ体制の良さも感じています。資格取得では会社が全額負担で応援してくれる制度があり、従業員や会社にとってのより良いためならば規約を変えることにも柔軟です。私が提案した名古屋南事業所を立ち上げることも実現していただきました。

仕事の楽しさと今後の課題

「あったらいいな」をカタチにする

お客様からの「こんなことできないかな?」という声に対して、仲間と協力して答えを出していく作業に楽しさを感じています。設計部と工事部の距離が近いことから、自ずとその連携も密になっているのかもしれない。たとえば、お客様から「今の機械は変えたくないがもう少し生産性をあげたい」とのご依頼をいただいた際、機械はそのままにして使い方を変えることで生産性が上がらないか設計の方々と試行錯誤を重ね、その結果ご要望に応えられた際など、仕事のやりがいと面白さを感じます。努力が目に見える形になるこの楽しさを、後輩の皆さんにもぜひ感じていただきたいと思っています。努力の実りが現物化する仕事は、他にはそうないのですから。

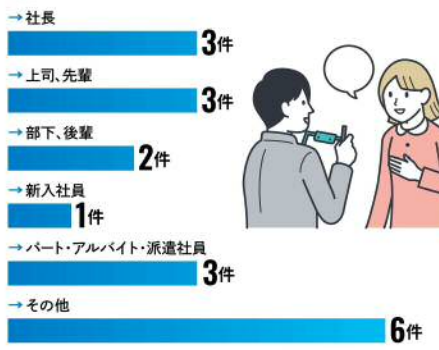
課題としては、現在受注量が大幅に増えており、人手が足りないことです。新規顧客も獲得したいところですが、今はその余裕がありません。人手不足を解消し、若手が確実に休みが取れるようにも努めたく思います。



感想アンケートの結果と今後の社内報について

皆様にご協力いただいた感想アンケートの結果を一部お伝えします。

Q より読みたいのは誰の記事ですか?



その他ご意見

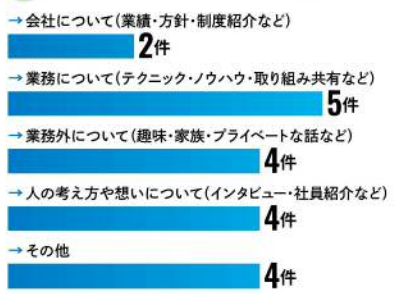
- 社内向け**
- 日々社員がどんなお客様先とどんな仕事をしているか、知りたい
 - 職場の労働環境の改善内容
 - 健康に関する内容
 - 福利厚生を紹介や活用方法のススメ (家族にもプラスな内容)

社外向け

- 商品の紹介、内作場の設備の紹介
- 弊社の強みと弱みがわかる内容を見たい
- 新規事業の案内
- 得意分野の紹介
- 製作可能なものの紹介



Q より読みたいのはどんな企画ですか?



これを踏まえまして…… 今後の社内報に方向性をお伝えします

- 営業に活用**
→ 営業時に使用できる紙面を作成
- 採用に活用**
→ 面接や説明会に配れる紙面を作成し、小澤製作所の魅力を求職者にお伝えする
- 家族への発信**
→ 家族に社員の頑張りを伝える、またご家族にプラスの情報を共有
- トピックス**
→ 会社の福利厚生を使い方や、各会社でのプロジェクトの状況などを共有



社内報担当より

小澤製作所の皆さま

いつもお忙しい中、社内報の制作にご協力いただきましてありがとうございます。今後は、皆さま1人3か月に一度の取材の頻度で進めていけるよう準備をしております。(企画によっては頻度が増える可能性がございます) 皆さまのモチベーションアップ、プラスになる情報、また業務にも使用できる紙面を制作できるよう努めます。引き続きよろしく願いいたします。

グレイスコミュニケーションズ